

青年技術士交流委員会 公開講演会

「技術士・技術士補による知的書評合戦ビブリオバトル」

青年技術士交流委員会では、例年、技術士の知名度向上や一般の方々との交流を目的とした公開型講演会を行っています。

今年は、令和5年1月14日(土)に「技術士・技術士補による知的書評合戦ビブリオバトル」を開催致しましたので、その内容をご報告致します。



写真-1 ビブリオバトル会場の様子

1. 公開講演会の概要

～技術士・技術士補による知的書評合戦ビブリオバトル～

ビブリオバトルは、発表者がお勧めの本を持ち寄り、制限時間5分で本の魅力を紹介し、その後3分の質疑応答を行います。発表後は、イベント参加者全員による投票で一番読みたくなった本をチャンプ本として決定します。

本講演会では、紹介する本のテーマを「ミライデザイン」とし、技術士・技術士補の発表者が予測困難なミライをデザインするための考え方や気づきを得られるような本を持ち寄り、紹介しました。

●日時：令和5年1月14日(土)13:00～14:40

●場所：紀伊國屋書店札幌本店 1階インナーガーデン
札幌市中央区北5条西5丁目7番地

●発表者参加人数：6名

今年の講演会では、新型コロナウイルス感染症の状況や諸情勢を踏まえてイベントのワーキンググループで協議した結果、基本的な感染対策を行ったうえで、3年ぶりに現地で対面開催することとなりました。

2. ビブリオバトルの報告

イベントでは優勝をかけ、6名の発表者により白熱した舌戦が繰り広げられました。

各発表後の質疑応答では、一般聴講者や技術士仲間から多くの質問が飛び交い、熱い議論が交わされました。一般の方からの質問には、わかりやすく、丁寧に、時にはユーモアを交えながら解説されており、技術士としてのプレゼンテーション力の高さが垣間見えました。また、技術士仲間からの鋭い質問には、普段の仕事で見せるような真剣な眼差しで質問内容に答えていました。

各発表者の本の紹介と質疑応答の後には、イベント参加者全員による投票が行われ、6名の発表者の中から小澤技術士と杉本技術士の両名が見事最多・高評価を得て同時優勝を飾りました。



写真-2 ミライ研から参戦し優勝を飾った小澤技術士



写真-3 自信の付け方を熱弁し優勝を飾った杉本技術士



写真-7 小説を通じて「生きる」意味を語る中出技術士



写真-4 技術者倫理のあり方を語る丸山技術士補



写真-5 デジタル社会の今後を考える密山技術士



写真-6 SDGsをユーモアを交えて説明する正田技術士補

ここで、発表された本を以下に紹介します。いずれも興味深い内容となっていますので、手に取って読まれてみてはいかがでしょうか。

- ・小澤正志 技術士(ミライ研)★優勝！
『毎日を楽しめる人の考え方』
- ・杉本光祐 技術士(当委員会幹事)★優勝！
『きみはスゴイぜ！』
- ・丸山緑 技術士補(当委員会幹事)
『新しい時代の技術者倫理』
- ・密山彰浩 技術士(当委員会幹事)
『アフターデジタル』
- ・正田遼平 技術士補(当委員会幹事)
『世界がぐっと近くなるSDGsとボくらをつなぐ本』
- ・中出雄也 技術士(当委員会幹事)
『フリーター、家を買う。』

3. 終わりに

本講演会は、3年ぶりの現地開催となりました。筆者も発表者としてイベントに参加しましたが、聴講者の相槌や拍手などが嬉しく、発表する楽しさを久々に感じました。また、紀伊國屋書店様へご来店された一般の方も立ち寄られて参加して頂き、技術士の知名度向上にも貢献できたかと思いました。

北海道本部の青年技術士交流委員会では、メンバーと共に楽しみながら、今後もますます人とのつながりを大切に、科学技術と地域との橋渡し役として活動をしていければと思います。